

バフェット来日！ 何を買う？

目の付け所と合致する日本株

2023/04/12

ウォーレン・バフェットが来日

バフェット氏、日本株に「追加投資を検討」 単独会見

バフェット氏 [✓フォロー済み](#)

2023年4月11日 11:00 [有料会員限定]

 保存

Think! 多様な観点からニュースを考える

窪田真之さんの投稿 



インタビューに答えるウォーレン・バフェット氏 (11日午前、東京都千代田区)

- 2020年8月にバフェット率いるバークシャー・ハサウェイが日本の5大商社(三菱・三井・伊藤忠・住友・丸紅)に投資したことが明らかに。出資比率は各社5%。
- 2022年11月にも追加投資し、出資比率は各社7.4%に。将来的に最大9.9%まで買い増す可能性があることを示唆。
- 2023年4月11日、2回目の来日。各商社のトップと会談。2022年12月および直前にも円建て債を発行しており、日本株への追加投資が想定される。

出典:[日本経済新聞](#)

バフェットが商社を購入した理由

購入時からの上昇率は+50%~3倍程度



- バークシャーと似ている
- 事業が理解しやすいし、実績もある
- 経営者が良い判断をし、お金を使い果たすこともない
- これから100年、そして永遠に生き残る
- 価格が2倍だったら買っていなかった
- 配当や自社株買いを評価

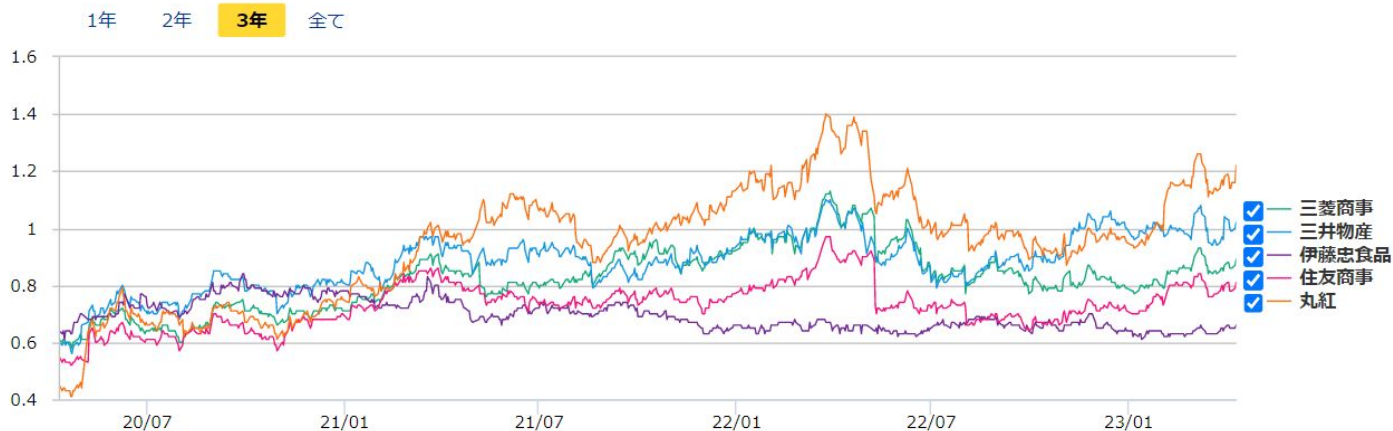
バフェット投資の目の付け所

- 自分が理解できる
- 「価値」が「価格」を大幅に上回る
- おかしな経営を行わない「クオリティ」がある

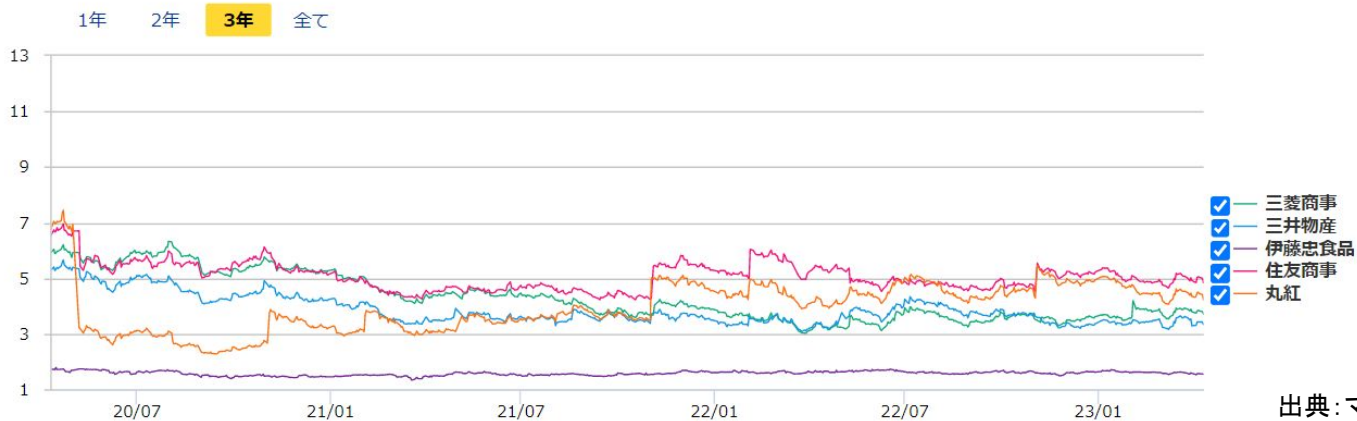
「予測」は重要ではない

商社への追加投資は？

PBR (実績ベース)



予想配当利回り



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の要請内容

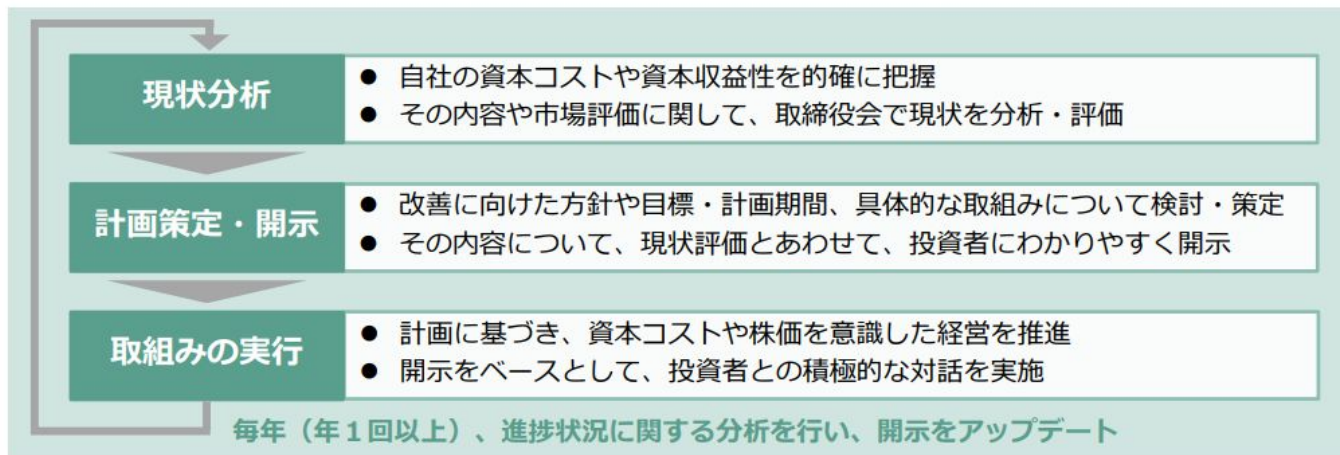


対象

- プライム市場・スタンダード市場の全上場会社が対象です。

対応

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、以下の一連の対応について、継続的な実施をお願いいたします。



※ 各対応を実施するにあたってのポイント・留意事項について、P 3以降で取りまとめております。

開始時期

- 計画策定・開示の前提として十分な現状分析や検討を行っていただくことが肝要であることから、開示について具体的な開始時期の定めはありませんが、**できる限り速やかな対応**をお願いいたします。
 - ※ 現状分析や検討に一定の期間を要する場合には、まずは計画策定・開示に向けた検討状況や開示の見込み時期を示したうえで、計画策定が完了した時点で改めて具体的な内容について開示するなど、段階的に開示を拡充していくことも考えられます。

出典：
[市場区分の見直しに関するフォローアップ会議（2023年3月31日）](#)

次に買いそうな日本株

人を、想う力。街を、想う力。



理解できる: シンプルなビジネスモデル

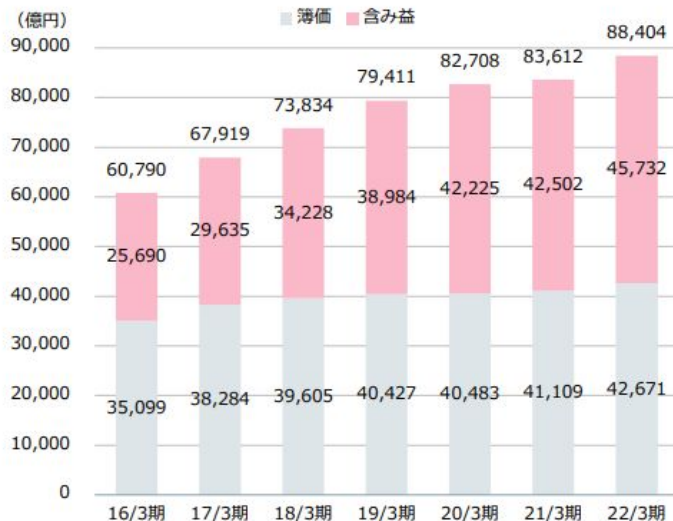
割安: 時価PBR 0.4倍

クオリティ: 「丸の内の大家」「130年の歴史」

5. 賃貸等不動産の状況①

新ビルの竣工、海外アセット・国内賃貸住宅はキャップレートの低下、為替影響等により含み益が増加。

賃貸等不動産の含み益



BPS・修正BPS※の状況



※ BPSに含み益（税後）を加えた数値

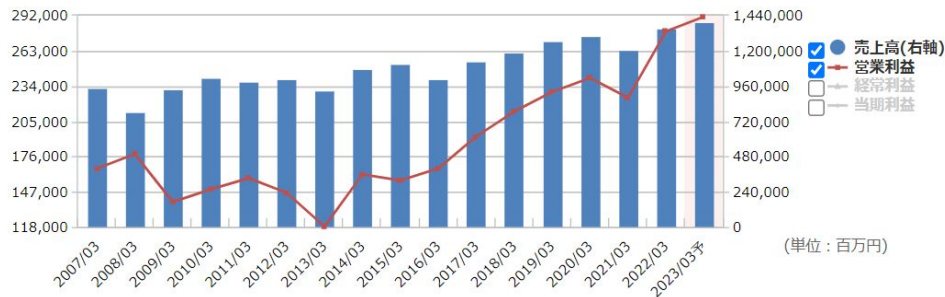
三菱地所概観

通期業績推移

業績 前期比 指数 利益率 変動要因

全期間

詳細



(単位: 百万円)

10年 月足 データ表示

04/11 [直近終値]



株価 (04/11)	1,611.5円	PER	(予)	12.9倍
時価総額	21,341億円	PBR	(実)	0.97倍
ROE (実)	8.05%	配当利回り	(予)	2.36%
ROA (実)	2.47%	自己資本比率		30.8%
予想経常利益 (予) (増益率)	267,000 (5.2%)	レーティング		4.70 (0.00)
予想経常利益 (コ) (増益率)	269,825 (6.4%)	目標株価 (コ) (株価乖離率)		2,223円 (37.95%)

※経常利益単位は百万円

更新日: 2023/04/11

出典: マネックス証券

素晴らしい銘柄を探そう！

- 本当に素晴らしい銘柄は、**長期間にわたって成長を続ける**
- 見極めるポイントは、**実績、ビジネスモデル、経営者の考え方**
- 理想の投資法は「**素晴らしい企業を見つけ、それを良いタイミングで買い、素晴らしい企業である限り持ち続けること**」

現在、入会金半額キャンペーン実施中！（5/7まで）

つばめ投資顧問 